

# 「令和4(2022)年度栃木県児童生徒の体力・運動能力調査」の結果について

栃木県教育委員会

## 1 調査概要

### (1) 目的

県内小・中学校、義務教育学校及び高等学校の児童生徒を対象に、新体力テスト及び身体計測を実施し、児童生徒の発育及び体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、行政上の基礎資料を得る。

### (2) 対象

県内全ての公立小・中学校、義務教育学校及び県立高等学校（全日制・定時制）を調査した。

#### 【標本数】

	小学校	中学校	高等学校		計
			全日制	定時制	
児童 生徒数	92,051 人	47,441 人	32,637 人	842 人	172,971 人
	男子：47,075 人	男子：24,599 人	男子：16,402 人	男子：482 人	男子：88,558 人
	女子：44,976 人	女子：22,842 人	女子：16,235 人	女子：360 人	女子：84,413 人

### (3) 実施期間

令和4(2022)年4～7月

### (4) 内容

スポーツ庁「新体力テスト実施要項」により新体力テストを実施した。なお、中学・高等学校で選択種目となる持久走と20mシャトルランは、後者のみを対象とした。

種目	体力評価	基礎運動能力評価	測定概要
握力	筋力	—	計器による握力測定を行い、左右平均値を kg 単位で算出する。
上体起こし	筋力 筋持久力	—	仰臥姿勢（あおむけ）から上体を起こす動作が 30 秒間に何回できるかを測定する。
長座位前屈	柔軟性	—	長座位姿勢から上体を前屈した時の柔軟性を cm 単位で測定する。
反復横とび	敏しょう性	—	1 m 間隔の 3 本のラインをサイドステップで左右に反復し、20 秒間内でラインを通過した回数を数える。
20m シャトルラン	全身持久力	—	速度が段階的に増加する信号音に合わせて、20m 間往復の持続走を行い、反復可能な回数を数える。
50m 走	スピード	走る	50m を走る時間を 10 分の 1 秒単位で測定する。小学生はスタンディングスタート、中学・高校生はクラウチングスタートにより行う。
立ち幅とび	筋パワー	跳ぶ	立位姿勢から両足踏み切りで前方へ跳躍した距離を cm 単位で測る。
ボール投げ	巧み性 筋パワー	投げる	原則としてオーバーハンドスローにより、小学生はソフトボール、中学生はハンドボールを用いて遠投距離を m 単位で測る。

出典「新体力テスト 有意義な活用のために」文部省 平成 12 年（測定概要を独自追記）

※ これらの 8 種目を、それぞれ定められた基準により 10 点満点で評価した得点の合計を「体力合計点」とする。（80 点満点であり、性別・学校種別で基準が異なる。）

## 2 結果概要

### (1) 調査開始以降 23 年間(平成 11(1999)年～令和 4(2022)年度)における体力合計点の推移

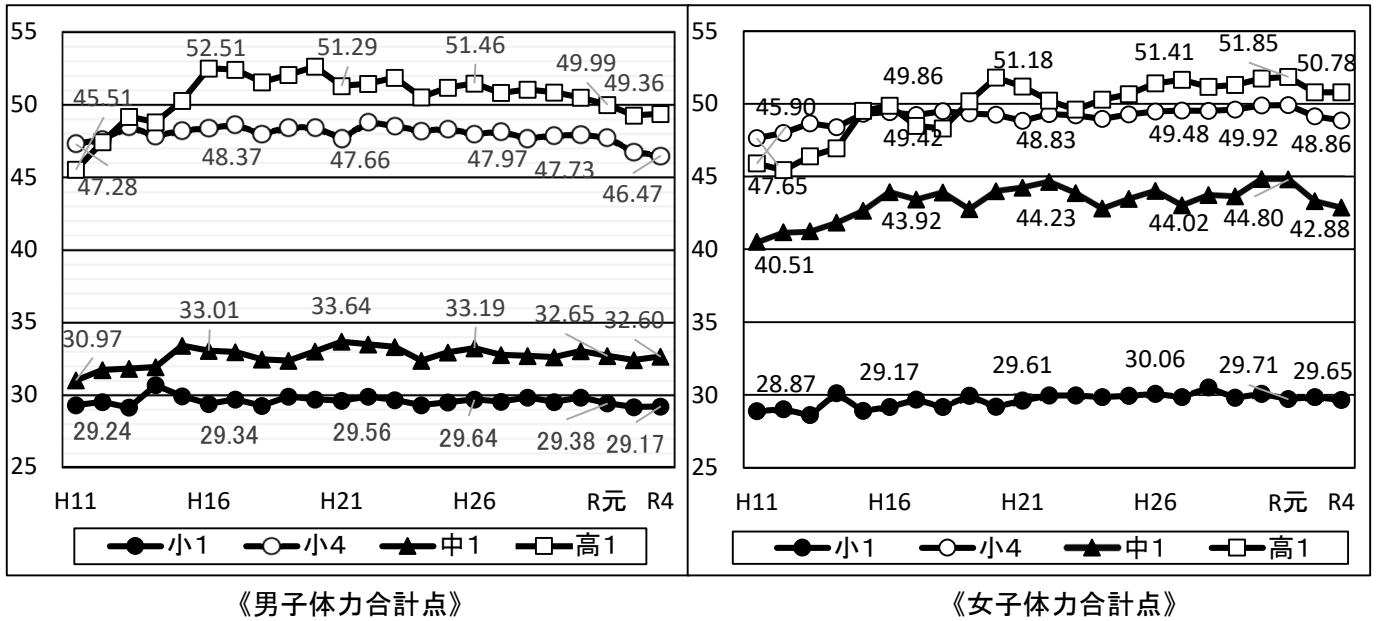


図1 調査における新体カテスト体力合計点の推移 ※H29より悉皆調査実施、R2は新型コロナウイルス感染症の影響で調査中止

○ 令和元(2019)年度までは、男女ともほぼ横ばいの傾向であったが、近年はやや低下傾向である。

### (2) 調査開始以降 23 年間(平成 11(1999)年～令和 4(2022)年度)における令和 4(2022)年度の傾向

表1 調査開始以降 23 年間(平成 11(1999)年～令和 4(2022)年度)における令和 4(2022)年度の傾向

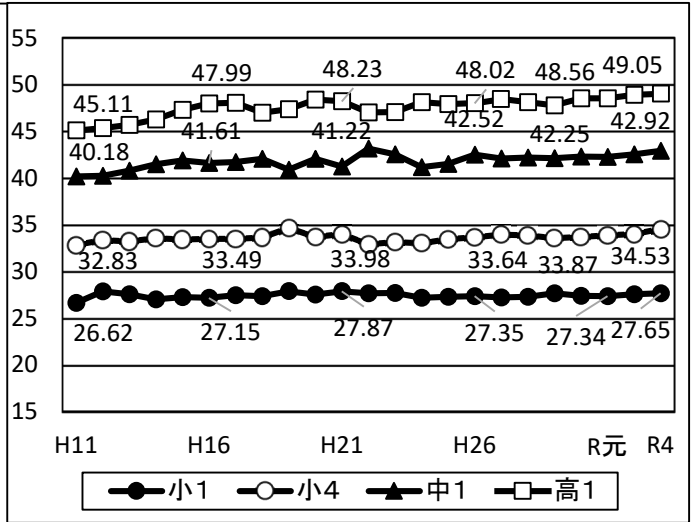
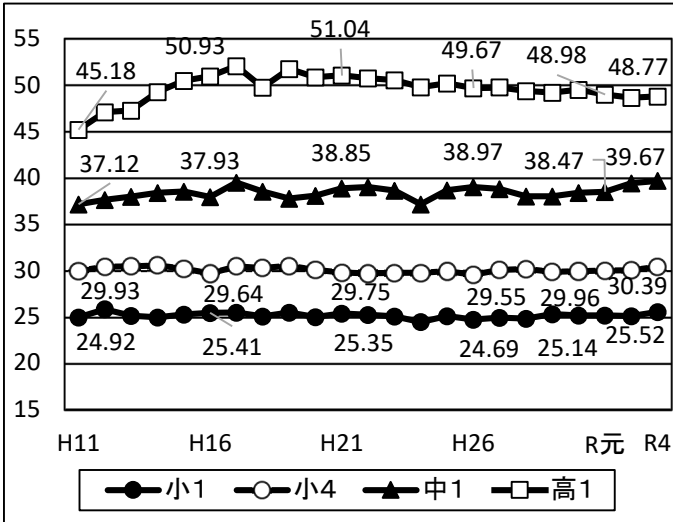
性別	種目	小学校						中学校			高等学校(全日制)			高等学校(定時制)			
		小1 6歳	小2 7歳	小3 8歳	小4 9歳	小5 10歳	小6 11歳	中1 12歳	中2 13歳	中3 14歳	高1 15歳	高2 16歳	高3 17歳	高1 15歳	高2 16歳	高3 17歳	高4 18歳
男子	握力	▲	▲	▲	▲	▲	▲				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	上体起こし								▲		▲						
	長座体前屈	○	○			○		○		○							
	反復横とび																
	20mシャトルラン			▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲				▲		▲	
	50m走			▲	▲	▲	▲										○
	立ち幅とび			▲	▲			○	○	○	○						
	ボール投げ	▲	▲	▲	▲	▲	▲				▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	体力合計点	▲		▲	▲	▲	▲										
女子	握力	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲			
	上体起こし																○
	長座体前屈		○		○	○	○	○		○	○	○	○	○			
	反復横とび										○	○	○	○			
	20mシャトルラン				▲	▲	▲	▲	▲						▲		
	50m走				▲												
	立ち幅とび					▲					○	○	○				
	ボール投げ	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲						▲		▲	
	体力合計点						▲										

○ …過去23年間で今年度の平均値が上位3位以内に入った種目  
▲ …過去23年間で今年度の平均値が下位3位以内に入った種目

- 男子は、長座体前屈や立ち幅とびで上位となった学年があった。握力では、中学校を除く学年で下位となり、ボール投げ、体力合計点は小学校のほとんどの学年で下位となった。
- 女子は、長座体前屈で多くの学年が上位となり、高等学校の反復横とび、立ち幅とびで上位となった学年が見られた。握力では、ほとんどの学年で下位となり、ボール投げについては小学校全ての学年で下位となった。

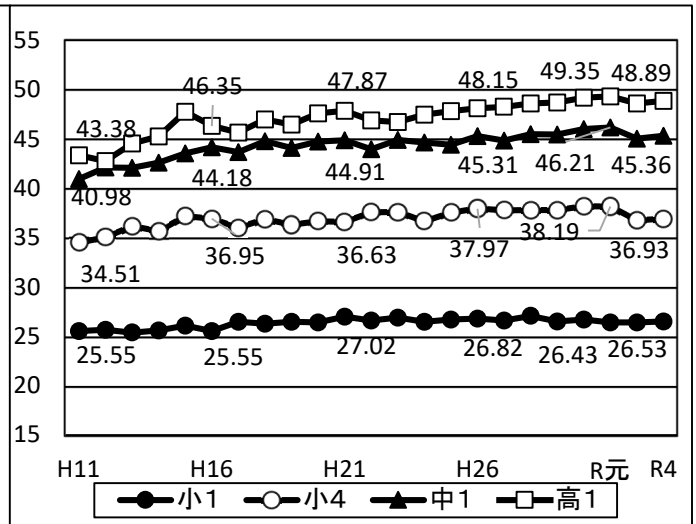
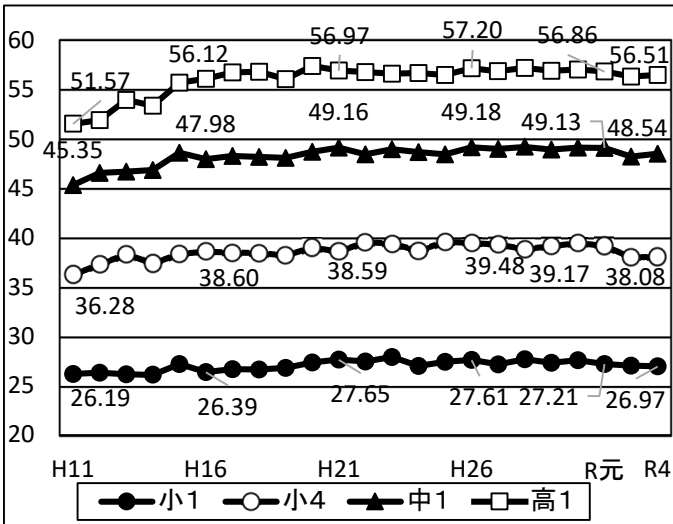
(3) 調査開始以降 23 年間(平成 11(1999)年～令和 4(2022)年度)における発達の段階、種目の平均値の推移

ア 緩やかに向上している種目の例



《男子：長座体前屈(cm)》

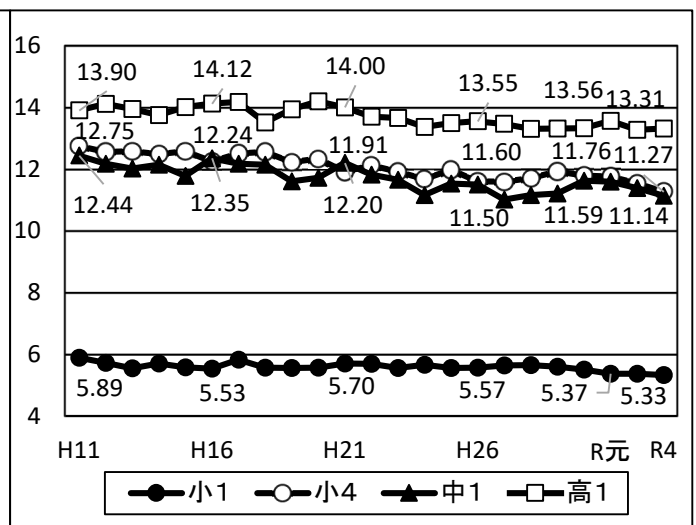
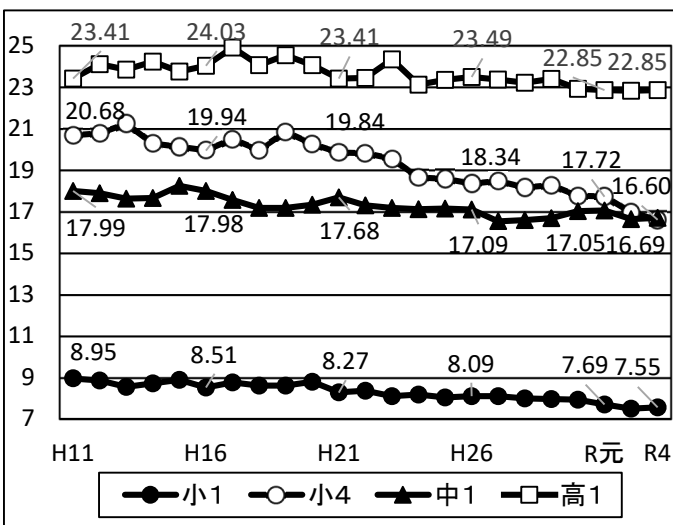
《女子：長座体前屈(cm)》



《男子：反復横とび(回)》

《女子：反復横とび(回)》

イ 低下傾向にある種目の例



《男子：ボール投げ(m)》

《女子：ボール投げ(m)》

- 長座体前屈と反復横とびについては、男女ともに緩やかに向上する傾向がみられる。
- ボール投げについては、男女ともに低下傾向がみられる。